



# 議会だより 入善

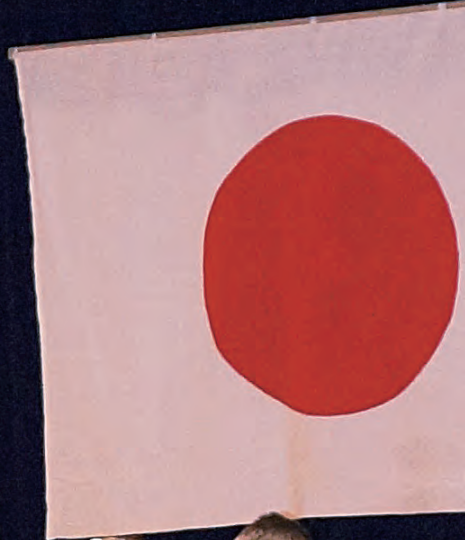
GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No. 177  
2016年4月27日

## に ゆ う が



じゅわ〜と  
にゅせん

### 目次

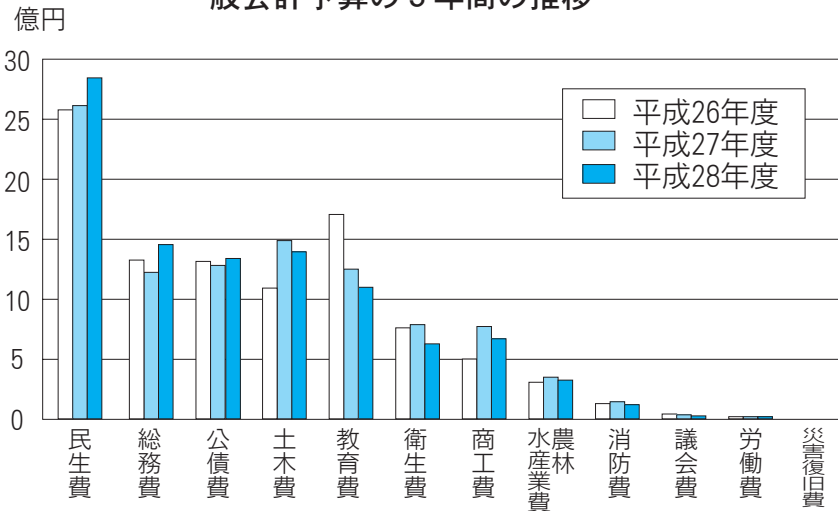
ピカピカの1年生 (桃李小学校)

パワーアップ! ストップ人口減少 (H28年度予算) . . . . .	2 P
保育所担当看護師を配置 (常任委員会レポート) . . . . .	4 P
重要な事業を前倒しで (補正予算) . . . . .	6 P
町政を問う 代表・一般質問 (5議員) . . . . .	7 P
まちのちびっこたち (こあら・ひばり野保育所) . . . . .	12 P

3月  
定例会

# パワーアップ！ ストップ人口減少！！

一般会計予算の3年間の推移



## 新年度予算の特徴

3月議会は、2日から18日まで開催され、平成28年度の一般会計と特別会計予算7件、27年度補正予算5件、条例の制定・一部改正など18件、議員提出議案4件を審議し、すべて可決した。また、固定資産評価審査委員会委員の選任について同意した。

一般会計 107億7千万円  
特別会計 48億7千万円（6会計）

本年度の一般会計当初予算は、前年度比0・6%減となったものの、5年連続で100億円を超える大型予算となった。上青小学校の第3期大規模改造事業や下野公園整備事業など、国の補正を受けて、平成27年度に前倒ししたが、入善統合保育所整備事業や中央公園改修事業など、多額の財源を要する事業が予算化されたためだ。

### ストップ人口減少

- ・ 子育て世代包括支援センターを設置し、切れ目のない子育てに係る相談・ケア体制の充実を図る。 506万円
- ・ 早朝・延長・土曜保育を拡充し、西部保育所で休日保育も実施する。 2852万円
- ・ 新婚世帯への住居費助成や結婚応援サイトの充実など、「それ行け！結婚プロジェクト」のさらなる推進を図る。 1874万円



西部保育所の休日保育

### (1) 豊かな水、みどりを守る

- ・ 豊かで清涼な湧水を活用し、新たに園家山周辺に親水広場を整備するとともに、高瀬湧水の庭の環境整備を行う。 5774万円
- ・ 入善土地改良区が浦山新地区において取組む小水力発電施設の整備に対して支援する。 9900万円

### (2) 地域資源を活かして

- ・ 深層水活用施設の展示、物販スペースをリニューアルする。 754万円
- ・ 農業所得の増大に向け、複合的にチャレンジする経営体の事業に対し支援する。 505万円
- ・ 海域資源の維持・回復のため、漁場造成工事や稚魚放流を継続して行う。 2325万円
- ・ 中心市街地での店舗の魅力向上に向けた、新築、改築などを支援する。 200万円

(3) 快適に安心して暮らせるよう

海抜10メートル未満の地域に暮らす町民に対し、津波対策用ライフジャケットの購入に補助する。 427万円

増加する空き家の問題解決に向け、対策協議会を設置し、計画の策定や、有効な利活用に取り組む。 1181万円

老朽化している中央公園の改修を行う。 1億1978万円

(4) 健康で幸せに暮らせるよう

平成30年4月の開所を目指し、入善統合保育所の実施設設計や用地取得に着手する。 1億7269万円

看護小規模多機能型居宅介護施設やサービス付き高齢者向け住宅の整備に支援する。 3098万円

(5) 文化を守り、心豊かな人を育てる

中央プールの解体及び入善小学校プールの整備に着手する。 3259万円

小学校の普通教室などにエアコンを設置する。 1億7935万円

(6) 地域コミュニティの活性化に

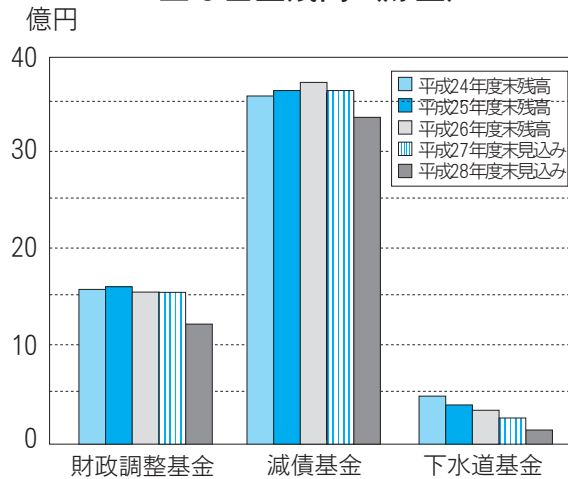
地域コミュニティの活性化に向け、元気な地区づくり応援補助金を創設する。 470万円

老朽化した公共施設など今後の整備に対し基金を創設する。 2億387万円

賛成多数で可決

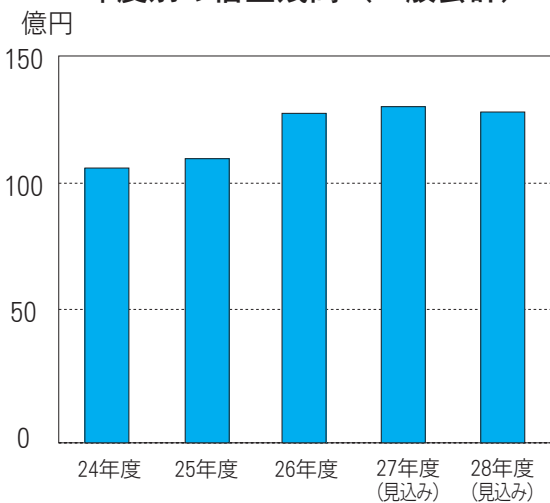
◎町の貯金と借金

主な基金残高（貯金）



財政調整基金：将来への財源不足を補うための貯金  
減債基金：借金償還に充てるための貯金

年度別の借金残高（一般会計）



主な条例の制定・改正など

次の条例案などを審議し、可決した。

入善町行政不服審査会条例の制定

行政不服審査法の改正に基づき、行政不服審査会の組織及び運営に関し必要な事項を定める。

入善町公共施設等整備基金条例の制定

公共施設などの計画的かつ円滑な整備を図るため、整備基金を創設する。

入善町消防団条例の一部改正

消防団長の報酬を引き上げる。

青野自然公園パークゴルフ場条例の一部改正

町民の年間使用料を8000円に統一する。

討 論

平成28年度一般会計予算  
平成27年度一般会計補正予算第5号

反対討論

井田 義孝 議員

新年度予算では、国から入ってくる地方交付税の見積もりがこれまでの実績より4億円も少ない。

歳入の見積もりを厳しくしすぎては、住民のために使う予算の制限につながりかねない。

実態にあう見積もりにして、さらなる子育て支援充実や住民要望実現に予算を回すべきだ。

補正予算には、デマンドタクシーの予約などの改善策が盛り込まれていない。また、芦崎、横山の町営バスを復活すべきだ。

# レポート

## 総務 常任委員会

確実な財政計画のもとで計画した事業を行う

**Q** 当初予算において、地方交付税を低く見積もり過ぎているのではないか。

**A** 地方交付税を甘く見込んでの予算編成はできない。また、見込み額より少ないからこの理由で計画した事業を取り止めるわけにもいかない。多く見込んで財政運営がうまくいっていない自治体もある。  
やらなければならない事業をしっかりとやるためにも、国の地方財政計画を参考に確実な見込みを立てて財政運営をしたい。



地域が元気になる横山の春祭り

### 職場内での提案型研修に力を入れたい

**Q** 職員研修では、OJ(Tを増やすとのことだがどのようなことを計画しているのか。

**A** 外部研修も必要だが職場内研修も充実させていきたい。  
日常業務の中であいさつなどの基本にしっかりと取り組みたい。  
また、職員間のコミュ

ニケーションを大切にすることで自己研鑽を啓発していきたい。

通信教育の補助や資格取得なども人事評価につなげたい。

### 地元が元気になるイベントに補助

**Q** 元気な地区づくり応援補助金として新規に470万円が計上されているが具体的な内容は、

**A** 子どもから高齢者まで性別を問わず、多くの人が元気になるようなイベント事業に補助をする。

納涼祭や伝統芸能などを通して地域コミュニティーへの愛着や住民同士の親睦や絆を深めることを目的とする。

町内131自治会を対象とし、補助の上限は5万円である。

補助金申請の手続きは、できるだけ簡素化したい。

### 津波対策用ライフジャケットに補助

**Q** 津波対策用ライフジャケット整備費として420万円余り見込んでいるがその対象は、

**A** 海岸付近で海拔10m未満の地域に居住する希望者に補助をする。

大人用1000着、子ども用1000着を予定しており、自己負担は20

00円だ。  
6月には希望者を取りまとめたい。

### 保育所担当看護師を新規に配置

**Q** 看護師1名を採用とあるがその内容は、

**A** 保育所で児童が体調不良となった時に、駆けつけて応急的な対応をする。

また保護者の了解を得て、病児・病後児施設へ送る場合もある。

### こんな意見も

◎家庭での火災報知機の設置・作動状況を再度確認すべきではないか。

◎公共下水道の汚泥処理費用の見直しはできないか。

# ● ● 常 任 委 員 会

## 産業教育 常任委員会

中央公園改修事業に  
着手

**Q** 中央公園改修事業費  
で1億1978万円  
を予算化しているが内容  
は。

**A** 老朽化している中央  
公園の改修に着手す  
る。

工事費、用地購入費、  
測量設計委託料などであ  
る。

入善ジャンボ西瓜の  
新規栽培を支援

**Q** 入善ジャンボ西瓜新  
規栽培促進事業の目  
的と内容は。

**A** 入善ジャンボ西瓜の  
生産減少に歯止めを  
かけるため。  
農家の新規栽培の取組



老朽化している中央公園テニスコート

**Q** 体育館改修事業調査  
設計業務委託料とし  
て、830万円を予算化

入善町総合体育館の  
大規模改造に着手

入善町総合体育館は  
平成4年に建設され  
ており老朽化が著しい。  
そのため、大規模改造事  
業に着手するための調査・  
設計を行うものだ。

移住・定住者支援事  
業制度の拡充

**Q** 移住・定住者支援事  
業制度の拡充を図つ  
たが、内容は。

**A** 民間宅地開発事業、  
安心定住促進事業、  
空き家バンク活用促進事  
業で新規に子育て支援加  
算を設けた。  
中学校3年生以下の子  
どもを持つている子育て  
世帯に支援するものだ。  
各事業における上限は10  
万円だ。

みに対し支援する制度を  
創設する。  
生産安定化の支援とし  
て10aあたり7万5千円  
を2年間補助するものだ。



もっと増やしたい入善ジャンボ西瓜

### こんな意見も

◎移住・定住者支援制度  
の充実が高く評価するが、  
子育て支援加算の内容が  
分かりにくい。

町民への周知のために  
啓蒙活動を図るべきだ。

## 27年度

### 3月補正予算を可決

・一般会計

3億4307万円を増額し、  
総額113億6294万円とする。

### ◎ 主な事業

○ 学校施設維持管理費 2億9938万円

上青小学校の第3期大規模改造工事を実施する。

○ 情報化推進事業費 3039万円

情報化セキュリティ強化対策にかかる委託費を計上する。

○ コミュニティ施設整備事業費 9232万円

飯野コミュニティ防災センター周辺の整備に着手する。

○ 企業立地推進事業費 1683万円

町内企業の工場増設にかかる造成工事の設計委託料などを計上する。

○ 道路改良舗装事業費 3000万円

切れ目のない公共事業の実施などを目的として工事請負費を増額する。

賛成多数で可決とした

・ 国民健康保険特別会計

8971万円を増額

・ 下水道特別会計

6654万円を減額

賛成全員で可決とした

## 議員提出議案

無電柱化の推進に関する法整備を求める意見書

国に対し、防災性の向上や安全で快適な通行空間の確保に向け、無電柱化の推進に関する法律案の早期成立を求める。

賛成全員で可決とした

北朝鮮による日本人拉致問題の完全解決を求める意見書

国に対し、すべての拉致被害者の一刻も早い帰国の実現に向け、全力で取り組むよう要望する。

賛成全員で可決とした

医療機関等に係る消費税問題の抜本的解決を求める意見書

国に対し、医療機関などにおける消費税負担の状況を把握し、抜本的解決に向けて必要な措置を講ずるよう要望する。

賛成全員で可決とした

介護報酬の見直し・介護労働者の処遇改善と人材確保を求める意見書

国に対し、介護報酬の引き上げを含む見直しなどに向けた検討を行うことや、介護従事者の処遇改善を確実にを行い、介護従事者の確保定着を図るよう要望する。

賛成全員で可決とした



大規模改修される上青小学校

## 請願・陳情

若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書採択の陳情

請願者 全日本年金者組合富山県本部黒東支部

賛成少数で不採択とした

## 入善町固定資産評価審査委員会委員の選任

平成28年3月19日で任期満了となる固定資産評価審査会委員に上野和博氏を選任することに同意した。

(任期は平成31年3月19日まで)



上野 和博 氏 (小杉)



充実させた子育て支援

予算編成における特徴や強調すべきところは  
町長 「ストップ人口減少」の加速化を促進

問 平成28年度予算は、平成27年度補正予算と一体的に編成した13カ月予算となっている。その特徴や強調されたところ、

工夫したところは、

笹島町長 入善町が「働きたい」「住みたい」「暮らしたい」「子どもを産みたい」「子育てしたい」として「選択されるまち」に向けた政策に重点化を図った。

「次世代につなぐ基盤づくり予算、パワーアップ、ストップ人口減少」として予算編成した。

その特徴は未来への投資として、少子化対策や子育て支援の質の改善と、量的拡充を一層充実させた。

強調するものとして、結婚から子育てまでのライフステージごとに対応した切れ目のない支援を

充実させた。

問 28年度は、町総合計画の後期計画スタートの年だ。

新年度予算との整合性は取れているか。また、見直しはあるのか。

町長 町づくりの基本構想の検討を行い、進捗度、重要度、満足度を分析する。

にゆうぜん「まち・ひと・しごと」づくり戦略との整合を図り、人口減少の克服を最重要課題として確実な一歩を踏み出していく。

消防団サポート事業に取り組む考えは

早急に検討していく

問 地域力の向上と消防団の活性化を図るため、消防団員の確保に努め、かつ消防団サポート事業に取り組む考えはないか。

神子沢総務課長 町の消防団の現況は定数375名に対し354名で、21名が不足している。

平均年齢は44・1歳で全国の40・2歳と比較して高齢化が進んでいる。

全国的に消防団サポート事業が普及し始めている。事業の詳細や実施体制などを協議しているところだ。

消防団や地域に最大限の効果を生み出すことができるよう、早急に検討していく。

交流・移住人口を増やす手立ては

多くの施策で移住・定住の推進に努める

問 交流人口や移住人口を増やす手立てはあるか。

シエアハウスでの長期滞在型や体験型観光、合宿の誘致などに取り組んでどうか。

梅津副町長

・「日本版DMO」の設置

・着地型旅行商品の開発や販売

・「日本橋とやま館」を活用した情報発信

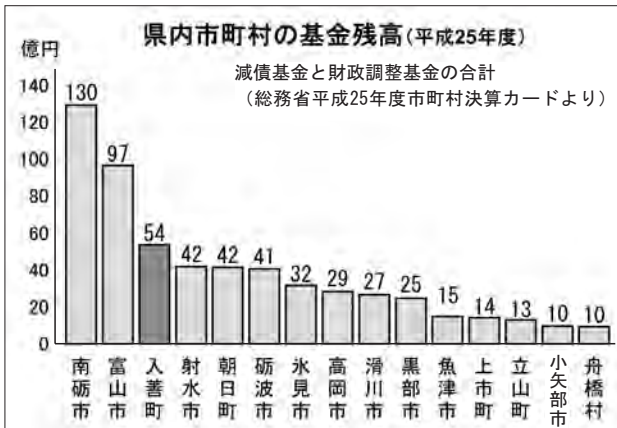
・移住・定住促進用パンフレットなどの作成

・空き家を利用した、シェアハウスを含めた体験施設の整備

など模索・検討していく。



谷口 一男 議員（会派アクセス）



基金の積立額は県内で3番目に多い額

借金の返済額が大幅に増えるのか

ピークは14億円 財政運営に支障がないよう積み立ててきた

町長



松田 俊弘 議員(日本共産党)

問 町の貯金といえる財政調整基金と減債基金に、54億円積まれている。これは県内の市町村で3番目に多い額だ。

借金の返済に備えた減債基金には、平成20年から平均で、毎年3億円積み上げてきて、約38億5千万円ある。今後、大幅に借金の返済額が増える見込みなのか。

住民から集めた税金は、必要以上に貯めるのではなく、住民のために使っていくべきと思うがどうか。

町長 一般会計の町債の残高は、127億円余りを見込んでいます。

町の借金の返済は、小学校の大規模改修などの元金の返済開始で徐々に増加していき、平成30年度で14億円余りと想定している。

財政運営に支障を来さないよう減債基金に積み立ててきた。

下水道の財源不足に減債基金の活用を

研究したい

問 町の下水道使用料は、1人世帯で黒部市の2倍だ。2人世帯では35%高くなっている。

黒部市の一部では、上水道用のメーターで使用量が分かる。それをもとに他の地域の使用料を設定しており、実態に近いと考える。

町の料金設定は、実際の生活排水量とかけ離れているのでは。

副町長 町の多くの家庭には量水器がなく、排出量は分からない。

町の料金体系は、宇奈月町を参考に採用した。

問 下水道特別会計の借金は、約150億円になり、その返済で多額の赤字が見込まれている。当局は財源不足の原因を、「甘い見通しとさまざまな計画」と述べた。

使用料の10%引上げを検討しているようだが、住民負担の軽減に減債基金を活用してはどうか。

町長 他の自治体がやっているとのことであり、研究したい。

事前の水位低下によるダム排砂の実験を

国はあらゆる手法を検討する予定

問 国交省は、愛本床止め工が壊れた原因は、石

が流れて来ず、河床が低下しているからだと言われている。また、宇奈月ダム上流部に、石が溜まっていると報告している。

連携排砂は、環境問題に加え、河川の安全に関わる事態となっている。これまでの排砂方法では、石の移動は困難と考える。

排砂が予想される時は、宇奈月ダムの水位を下げたおき、排砂時にいち早く排砂ゲートを開け、自然流下の状態にする実験も行うよう提案してはどうか。

町長 国では、石に発信器を埋め込み、移動調査を行っている。

その結果をもとに必要と判断されれば、自然流下時間の延長のほか、あらゆる手法の検討と試験実施を行う予定です。



## 中小企業の事業承継に対して支援を

町長

商工会などと情報共有や連携を強化しながら  
支援のあり方について研究していく



今後の利用が検討される公共施設

**問** 事業承継できない中小企業をまとめ、後継者となる人財を発掘するようPRし、第3者も可能とした事業承継を進め

ていくシステムを作ることも必要ではないか。また、後継者の育成期間の人件費を補助したり、事業承継後の運営費に補助をしてはどうか。

**町長** 経営者の高齢化が進む一方で後継者がいないために、事業の継続を断念する中小企業が、全国的に増加している。町内においても同様であると認識している。

町では、中小企業向けの助成制度に取組み、とりわけ小規模事業者の発展と安定した経営に支援してきた。

また、元気な商店街再生事業補助金では、中心市街地において小売業な

どを営む事業者の3親等以内の親族が承継する場合に、補助率や限度額を上乗せする後継者対策を行っている。

一方で、親族に後継者がいないケースや、後継者不在となる事業所の増加などが懸念される。そのため、事業承継のシステムづくりや、後継者育成に対する支援については、その必要性が増してくるものと推察される。

町としても、商工会など関係機関との情報共有や連携を強化し、事業承継に対する支援について、ニーズの把握に努めるとともに、効果的な支援のあり方などについて研究

していきたい。

商業を志し、生業とする人材の育成と、後継者不在となる店舗とのマッチングといった、新しいシステムづくりについても、検討していきたい。

使われていない公共施設の有効活用を

十分に検討していきたい

**問** 地域住民や団体、企業からプロポーザル方式で提案してもらい、現在使われていない公共施設の有効活用を図ってはどうか。

**竹島企画財政課長** 全国では、利用しなくなった公共施設などの有効活用を図るため、民間などのアイデアやノウハウ、

資金などを活かした取組みが進められている。その手法の一つがプロポーザル方式だ。

これは、施設を拠点とした地域おこしや起業などが期待される。また、維持管理を含めた民間活力による運営が伴うのであれば、大変有効な手法ではないかと思われる。

基本的には、老朽化している施設も多く、多額の改修費をかけての再利用ということについては、慎重に検討する必要がある。

現在、町では公共施設等管理計画の策定に向けた準備を進めているところだ。公共施設の有効利活用についても、十分に検討していかなければならないと考えている。



中瀬 淳哉 議員



統合が予定されている東部保育所

## 保育所運営方法の見直しを行う考えがあるのか

### 結婚・子育て 民営化や指定管理者制度の 導入に関する具体的計画はない



五十里 忠茂 議員

**問** 少子化対策の要として、ゆるぎない保育の質の安定こそ、行政が果たす最大の役割と思う。保育所運営方法の見直しを行う考えがあるのか。

**清田結婚・子育て応援課長** 町の行財政改革実行計画に掲げる保育所運営に関する項目には、2つの柱がある。ひとつは、保育所統廃合の推進である。町では、より快適な保育環境を提供するため、平成18年3月に策定した基本構想に掲げた「1小学校下1保育所」の方針に沿って、老朽化した保育所の統合整備を計画的に進めている。

平成21年度にひばり野保育所、平成23年度にはこあら保育所、昨年4月にさわすぎ保育所を順次開所した。現在は、入善地区の東

部、西部、南部の3保育所の統合整備に取り組んでいる。

もうひとつは、保育所運営方法の見直しである。民営化、あるいは、指定管理者制度の導入については、早期に取組むとなっているが、現時点では、具体的な計画はない。

**自然遺産、民俗文化、芸術をどう継承するか  
重要度を勘案し保存・整備・活用に取組む**

**問** 自然遺産や民族文化などの地域財産を後世に残すために、どのような行政的配慮が必要と考えるか。

**町長** 町には国の指定文

化財として、杉沢の沢スギやじょうべのま遺跡、邑町のサイノカミなどがある。また、国の登録有形文化財として下山芸術の森アトスペース、発電所美術館がある。

県指定文化財としては、下山八幡社の大藤と境内林や小摺戸の大藤などがある。さらに町指定の文化財や各地区の民俗文化がある。

今後引き続き、文化財保護審議委員などの意見を聴き、重要度や緊急性を勘案し、保存・整備に取り組む。

これらを将来に向けて受け継いでいくことは、夢や希望を持つ子どもたちに、郷土への愛着と誇りを呼び覚まし、心豊かな人を育てるまちづくりの一助になるものと考え

る。

**カローリングのできる施設の充実を図れ  
総合体育館の利用料の減免に配慮**

**問** 高齢者がカローリングを気軽に楽しめる施設の充実を図ってはどうか。

**副町長** 町は町内10地区にカローリングの用具を整備した。施設の不備な地域については総合体育館の利用を勧めており、利用料の減免にも配慮している。

町民の皆様が、いつまでも健康で過ごしていただけるよう、可能な限り支援を行う。

「J Aみな穂お米コンテスト」への町長の思いは

町長 食味向上の励みになれば



1等米比率が高い入善産コシヒカリ

**問** 「J Aみな穂お米コンテスト」の入賞者に対する町長の思いは。  
**町長** 昨年初めて実施したコンテストの目的は米

の食味を客観的に評価し、競い合うことで食味向上意欲を高め、みな穂米のブランド力向上につなげることだ。

し5段階評価し全国139銘柄が審査され、県産コシヒカリは、2年連続最高評価の「特A」を獲得した。

このコンテストに参加している生産者の熱意を感じており、来年度以降も町からの表彰状授与を継続したい。

中でもJ Aみな穂管内のコシヒカリは、1等米比率が98%と高く、生産者の地道な努力の結果と思う。

さらなる良品質な米の生産に向けて励みになればと考えている。

機械導入の支援や土づくりへの助成などで一層の高い評価と消費拡大につなげて、農業所得の増大につなげていきたい。

**問** 日本穀物検定で2年連続で県産コシヒカリが「特A」の評価を受けた。これについてどう思うか。  
**町長** 穀物検定は昭和46年から実施されている。味や香り、粘りや硬さなどそれぞれの項目を分析

「畜産クラスター計画」は町でも適用されるか。  
**真岩がんばる農政課長** クラスター計画とは、さまざまな地域の関係者

が連携して、地域全体で畜産の収益向上に取り組むための計画である。

町には、すでに構成された組織があり、この組織をベースにすれば畜産クラスター協議会へと発展可能と考える。

**指名停止、指名回避は行政処分か**  
**指名停止のみ行政処分だ**

**問** 指名停止、指名回避、指名留保の違いは。

それぞれが行政処分なのか。

**副町長** 指名停止とは、虚偽申請などの不正行為、現場事故などが発生した場合「入善町建設工事指名競争入札等参加有資格者指名停止要領」に沿って、一定期間処分するものである。その内容を企

画財政課で公開し、報道機関へも通知を行っている。

指名回避は、粗雑な工事で成績が基準以下の場合、法令違反や町税の滞納など、社会通念上、不誠実な行為が明らかで、請負者として不相当であると認められる場合に、その行為が改善されない以上、「入善町請負工事等入札参加者選定要領」に沿って、指名を回避している。

「指名停止」は行政処分だが、「指名回避」は入札制度の公正を図り町民の信頼を得るための措置で、行政指導の要素が強いものであり、行政処分にあたらない。なお「指名留保」は「指名回避」に含まれるものである。



五十里 国明 議員

# ぴかぴかのバッジを もらったよ

## こあら保育所

こあら保育所では4月5日に入所式が行われ、パパ・ママと手をつないで可愛らしい6人の新入児が入所しました。新入児も一つ大きいクラスに進級した子どもたちもみんなピカピカの新しいバッジをつけて、喜びでいっぱいです。児童全員の紹介では、担任から自分の名前を呼ばれると、



みんな目を輝かせ「はい」と、大きな声で返事をしました。

歓迎式では、青バッジさんが「ニンニンジャー」と「プリキュア」の踊りを披露してたくさん拍手をもらいました。

新入児を仲間に迎えて、0歳から5歳児まで、103名の子どもたちで仲良く元気に遊んでいきたいと思っています。

春には園庭で砂遊びや虫探し、夏にはプール遊びをします。

秋には散歩に出かけて、バッタやカエルを捕まえたり草花を摘んだり、冬にはソリ遊びや雪遊びなど四季折々でさまざまな遊びを楽しみます。

子どもたちは花や虫や生き物が大好きです。自然のなかで季節を感じながら、保育士も一緒になって、子どもたちの好きなことをいっぱい楽しんでいきたいと思っています。

(所長記)

# みんな仲良し ひばりっ子

## ひばり野保育所

児童数が少ない小規模なひばり野保育所では、0歳から5歳児までみんな仲良しです。家庭的な雰囲気の中で、一年を通してみんなでお店屋さんごっこやカラオケ大会などのいろいろな遊びを楽しんでいます。

地域の行事にも参加しています。なかでも舟見といえは☆七夕祭り☆です。みんなで作った笹飾りは、地域の皆さんが吊つたり下ろしたりしてくださいます。短冊コンクールではいつも賞をいただいています。

七夕の花火大会以降は、園内では花火大会ごっこが盛り上がりです。3月のお別れ会では、5歳児が花火大会を披露しました。花火に見立てたキラキラのポンポンが上がるたびに歓声があがり、みんな



の笑顔がいっぱいになりました。

このように地域の楽しい行事を、年上の子どもたちが遊びに取り入れ、それを見た年下の子どもたちがまねをして遊ぶ姿がよく見られます。

竹馬や縄跳びも同様で、年上の子どもたちの頑張りが年下の子どもたちの良いお手本となっています。

年齢の違う子どもたちが、一緒に遊び生活しながら、ともに成長していく姿は、小規模の保育所ならではの良さです。これからも大切にしていきたいです。

(所長記)

## 編集の窓

入善町の新しい予算が決まりました。

町は、人口減少の歯止めを最大限の努力をした予算を組んで、若者世代の定住・移住に支援をしています。婚活イベントをはじめ、ラーメンまつりや深層水かき祭り、フラワーロードなどといった、各種イベントの応援をしながら、若者たちの出会いの場づくりにも励んでいます。

町の将来像を語る上で、元気な子どもたちや活発な若者たちの存在が欠かせません。

議会も、町当局と一体となって、一生懸命に取り組んでいきます。

### 議会広報編集特別委員会

議長	鬼原 征彦
委員長	佐藤 一仁
副委員長	中瀬 淳哉
委員	松澤 孝浩
委員	野島 浩
委員	本田 均
委員	井田 義孝